期待すること・課題と考えること

予算審査特別委員会にて審査しました。質疑、そして議員間で自由討議をして、評価すべきところ、問題点や課題について意見を出し合いました。議員一人ひとりの予算に対する思いをお知らせします。

学校給食の無償化、でも…

清水　秀幸　議員

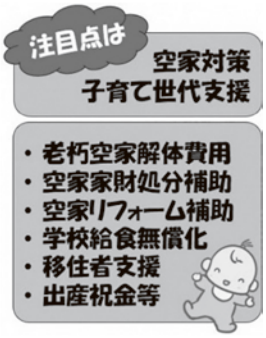
子育て世帯の経済的負担軽減や少子化対策を目的に、全国の自治体で進む給食費の無償化。でも、財政状況により子どもたちの「食の権利」保障に自治体格差があるのはおかしい。給食費の無償化は義務教育の無償性の観点から国の責任で全国の給食費の無償化を。

給食無償化　国は推進を

空家対策・子育て支援充実

関根　清隆　議員

借金返済6億円が十数年続く。限られた予算の中で、ある程度福祉の充実に取り組んだ姿勢は評価できる。これでどうにか世間並。帯状疱疹予防接種の補助あり。議会のＤＸ化に期待。



新たな取り組みに対する予算になった

中山　明美　議員

給食費無償実施・DXの導入・レインボー協議会加入・鳩山幼稚園3年保育等、様々なことにチャレンジした予算になった。

福祉文教委員会でも視察研修に行った産後ケア事業が始まることも評価できる。

幼稚園の給食費無償化に向けて早期実現を望む。

人口減少「パイの奪い合い」

日坂　和久　議員

令和6年度は、少子化対策チャレンジプランを基に、遅まきながら子育て支援策及び移住推進の再生・構築に力を入れる予算編成であり、評価できる。

しかし、近隣市町では既に取り組みが進んでいる事業でもあり、他市町にない鳩山の魅力を打ち出していかなければ太刀打ちできない。

移住推進
便利な街に負けるな!!

水路改修できれいな道に

小鷹　房義　議員

北部地域活性化の一つとして、ちょっくま隣の水路改修がかかせません。2年後には、遊歩道を楽しく歩きましょう。

辻川再生

配食サービスを、町が直接実施する事に

森　利夫　議員

今年度から介護保険事業として、町が予算案を計上した。補助額や配食数等の課題は多いが期待して見守る。

見守りを兼ねた
配食サービスの一例

一般会計予算討論

〈賛　成〉

多年に渡り西部クリーンセンター整備と地元対策事業に重点的に取り組んでいたため、移住推進事業等が手薄になっていた。

令和6年度は、子育て支援策及び移住推進に繋がる事業に取り組むこと、全町民に包括的支援事業を推進させ「暮らしに幸せを感じる」まちづくりを目指す堅実な方向性の予算編成になっている。

（日坂）

保育室エアコン設置工事、産後ケア支援等の少子化・子育て支援、そして、自転車ヘルメット購入助成、帯状疱疹ワクチン助成等の金額の多寡に関わらず、町民にとって関心の高いものに目を向けた予算に評価。

また、農業担い手育成を目指す補助金制度など各分野に配慮した予算編成で、効果が最大限に発揮されるよう期待する。

（清水）

令和6年度当初予算 ここに注目!

やっと3年保育が始まった 鳩山幼稚園

松浪 健一郎 議員

いまさら少子化対策チャレンジプラン?15年以上も前から子育て施策の充実が大事だと訴えてきたが、遅すぎる。やっと他の市町に追いついただけ。

子育て世代の移住を促すのなら、更なる活性化施策が必要だ。

町民の幸せ度をアップし、移住者増に!

野田 小百合 議員

小中学校給食の無償化をはじめ、0~2歳の第2子以降の保育料無償化、産後ケアなど、こども関連の施策が充実した。更なるステップアップを期待し、移住者増にもつなげてほしい。

ある日の給食（町HPより）
鳩山の安心・安全な野菜をもっと給食に

情報発信システムを導入

石井 計次 議員

国の補助金を活用して、子育て支援アプリ導入事業他、議会へタブレット端末を導入し、デジタル技術を活用してペーパーレス化。

今後、町のDX化は加速。費用対効果と共に活用力も問われる。

タブレット端末

予算に対して思う事

根岸 富一郎 議員

行政は、非常にプライバシー保護について『無頓着だな』と思う。個人番号カード交付事務費や番号制度システムを受け入れる。

これでは、「業者が名簿を見せてくれ」などの要求に応えなくてはならない。

プライバシー保護を

ようやく少子化対策に重点を

大賀 広史 議員

置いた点は評価できる。整備したハコモノの活用ができておらず、作っておしまいの指定管理者任せの運営では立ちいかなくなる。

これからは税金で補助金や管理費を出すばかりではなく、公民連携で町おこしや地域活性化を考えていかなければならない。

赤字経営のちょっくま

投資に見合う成果を

石井 徹 議員

子育て支援策他、評価できるものも多数ある。

しかし、ここ数年の大型投資による過度な財政負担に対し、北部地区の移住推進や新規施設の活用等、投資に見合うだけの成果が得られていない。

他にも企業誘致、重郎橋周辺整備等についても、待っているだけでは進展はない。将来展望をしっかり把握して取り組むことが必要である。

活性化を望む、総工費約8億円の泉井交流体験エリア

昨年の予算の時は、給食費の助成は2千円だったが、令和6年度の予算では完全無償化となった。財政の厳しい中、給食完全無償化の強い意志を感じた。

帯状疱疹予防接種費用助成、産後ケア事業、新たに鳩山小学校で、放課後子ども教室も始まる。より安定した財源を確保することを要望して、一般会計予算に賛成する。

（中山）

北部地域活性化の借金のため、毎年6億円程度の返済が十数年続くこととなる。結果新しい事業に回すお金も乏しく、厳しい時代が続くが、その中で、私はじめ多くの議員が要求してきた学校給食の無償化や、空家対策・移住者向け各種補助金等の施策がある程度盛り込まれ、課題解消に前向きな予算だと評価できる。

（関根）

〈反　対〉

反対の理由は個人番号カード交付事務費や番号制度システムを受け入れることだ。これでは、「業者が名簿を見せてくれ」などの要求に応えなくてはならない。

プライバシー保護を。

（根岸）